

④松原市民松原図書館「読書の森」(松原市新図書館建設事業)

受賞機関 松原市

キーワード 池の中の図書館、設計・施工一体型、
工期短縮・コスト削減

全建賞審査委員会の評価ポイント

既存図書館の建て替え事業。世界に誇るシンボルとなる図書館をすることをコンセプトに掲げて事業者から立体公園のようなシンボル性のある外観を引き出すとともに、事業者の創意工夫によりコスト縮減や施工の合理化・効率化を実現した点が評価された。

1. はじめに

松原市は市内各地域に図書館分館を有している。それらのサービスの基幹を担う中央館の建設により、市民の知りたい、学びたい、交流したい、社会に働きかけたいというニーズにこたえる智のネットワーク形成を図り、社会教育施設等が有効に機能する市民の「智の拠点」づくりを進めていくことを目的としている。

2. 事業の概要

既存図書館の建て替えにあたり、設計・施工一体の公募型プロポーザルを採用した図書館建設事業である。松原市一帯には古墳が多く現存しており、古墳のようにまちの風景に溶け込み、永い時間親しまれる図書館を目指した。敷地は農業用ため池の一角であるが、埋め立てる事なくため池の中に直接建つ建物とすることで、地域資源としての親水公園の風景を保存しながら新たな魅力を生み出す施設を実現した。



親水公園の中に建つ図書館

3. 事業の成果

直接池の中に図書館を建設することおよび周囲を堀状として水を循環させることにより、水環境を最大限活用する計画とした。ため池による気化冷却で冷やされた外気は効果的に開いた開口から取り込まれ、館内全体に穏やかな通風を生んでいる。

シンボル性を生み出す厚い壁については意匠性のみならず構造、設備の両面からも合理性を追求した。耐震壁と断熱材としての機能も併せ持たせる事により適切な構造耐力の確保、冷暖房負荷の低減を実現している。

当プロポーザルは設計期間および工期とも短く、施工ヤードについても制限がある難しい条件の中で、設計施工一体型の公募型プロポーザルが採用された。設計・施工一体型とする事により、独創的な設計提案が出てくると共に実現性のあるコスト、工程、施工方法も同時に提示され、総合的に工期短縮、コスト削減を実現する事業となった。



親水公園を望む閲覧室

4. おわりに

読書の森は市の中心に位置し、近隣施設として文化会館や体育館などが集まる市の文化ゾーンの一角を成している。

館内にはスマホやタブレットが気軽に使えるよう無料Wi-Fiを整備したほか、事前に席をネット予約ができる自習室を設け、学生から大人まで勉強に集中できる環境を確保するなど、読書にとどまらず様々なニーズに対応している。また、子育て世代の方々も親子で読書が親しめるよう、3階すべてをこどものフロアとし、寝ころんで読書ができるスペースを設けるなど、年齢に応じて自由に読書を親しむことができる。屋上の展望広場には、植栽やイス・テーブルを配し、読書のほか、憩いの場としても利用できる。

今後においても、市のシンボルとして、永く市民に愛される図書館を目指す。

賛助会員 (株)鴻池組